

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	地域密着型特別養護老人ホーム 第二偕楽園ホーム		施設番号	1392900799
項目	前年度の評価結果に基づく現状分析 (令和4年度)	改善計画 (令和4年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和5年4月30日時点)	
施設と家族との交流連携を深め、ともに利用者の生活を支えていくこと について	当施設ではコロナ禍であっても「面会制限はしない」との方針の下感染症予防対策を十分にとった上で、短時間の対面面会や窓越し面会など柔軟な対応をしている。また、コロナ禍前には施設として家族がカンファレンスへ参加することを推奨しており、色々工夫した上で、約80%の家族が参加している。現在は家族懇談会や家族満足度調査はできていないが、将来的には行事の後に今段階を設定して、ユニット毎にこじんまりと家族と職員との交流を図り、コロナ後、施設と家族との関係性をより深めて、共に利用者の生活を支えて行くことが期待される。	年1回、家族懇談を計画し利用者や家族 職員との交流を図る企画を実施する	1 実施済み 2 実施予定(令和 年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。	
利用者の状態の変化に都度対応できる排泄支援の標準化 について	日々の様子観察から利用者一人一人の排泄パターンを把握し、個別の排泄支援に取り組んでいる。併せて臀部の状態観察や、清潔の保持に努め感染症対策や褥瘡予防につなげている。また、トイレでの排泄を促しており、声掛けや、必要に応じて、2名での誘導などによって対応している。排泄支援の取り組みとして、オムツゼロの取り組みが研修等でも実施されている。一方で利用者の機能低下などによる状態の変化が大きく、アセスメント、ケアプランの見直しからも排泄支援の標準化が望まれる。	排泄つ委員会を中心に、排泄支援計画の見直し及び周知を図り標準化を図っていく	1 実施済み 2 実施予定(令和 5 年6 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。	
高品質な介護サービスを提供するための人材育成 について	アクションプランによって目標指標内容・目標達成期間・目標基準値・目標値・結果の評価方法・スケジュールなどの進捗管理を行い、確実な目標達成につなげている。また、人材育成においては、課長や係長職のプロフェッショナル化は高品質な介護サービスを提供するためには必要不可欠であることを施設では認識している。自身の業績を上げつつ、部下も指導管理し、組織の中で最も貢献度を期待される人材をプロのビジネスパーソンとして育成することを目指している。また、外国人労働者受入れ及び育成、確保の重要な課題としている	経営幹部会議及び経営会議 経営コンサルティング会議を毎月実施し人材育成の木藤な場として活用する。	1 実施済み 2 実施予定(令和 年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。	

※この様式は、「令和4年(2022年)度八王子市地域密着型特別養護老人ホーム運営費補助金交付要綱」の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、八王子市のホームページでも閲覧できます。